

# 第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

## 小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	東員町立三和小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	パラスポーツ体験を通じた「あたたかい集団」づくり ～ 理解・共感・探求 ～

〈活動・研究の意義および活動報告〉

### 1 活動にいたる経緯

コロナ禍の3年間、集団活動が制限され、子どもたち同士の関わりが十分ではありませんでした。本年度は、「コロナ禍からの回復」をキーワードに、体験的な活動を積極的に設定しました。本校では、全学級共通の学級目標として「あたたかい学級」を掲げています。学級の枠にとどまらず、2学年合同授業や全校縦割り活動を通じた「あたたかい集団」づくりも目指しています。学級活動や縦割り活動充実のための一つの手立てとして、今回、東京五輪によって子どもたちに身近となった「パラスポーツ」体験の取り組みを行うことで、「あたたかい学級」「あたたかい集団」づくりにつなげたいと考えました。

### 2 活動・研究の目的

- ① パラスポーツを友達と体験することでその魅力を感じ、パラスポーツもひとつのスポーツ種目だということを理解させる。
- ② パラスポーツを体験し学ばせることで、パラアスリートに共感し、来年度実施のパリパラリンピックに関心を持たせる。
- ③ パラスポーツを集団で体験することで、子どもたちの関わりを創り出し、高学年児童のリーダーシップを育成しつつ、本校が目指す「あたたかい集団」づくりを進める。

### 3 活動時期および主な活動内容

#### ① 1学期

高学年において、道徳・総合学習の時間において、教材「Im possible」（国際パラリンピック委員会教材）を使用し、「パラスポーツ」理解の学びを行いました。

#### ② 2学期

\* 高学年において、「あすちやれスクール」（日本財団主催のパラスポーツ体験講演会）を実施しました。

パラアスリートとの交流、車いすバスケの体験を通じて、パラスポーツへの一層の理解・共感が進みました。

- ・車いすの人への感情が「かわいそう」から「楽しそう」に変わって、うれしかったです。
- ・クラスの子や先生たちがバスケットボールをやっている様子がすごく楽しそうで笑顔でした。



\* 4年生の総合において「アイマスク」体験授業を実施し、ゴールボールやブラインドサッカーに取り組むパラスリートの凄さに思いを巡らせました。

### ③ 3学期

\* 体育の授業において学級でのパラスポーツ体験(ポッチャ)に取り組むことで、パラスポーツの楽しさを実感させ、友達理解、あたたかい集団づくりにつなげました。

\* 特別活動において、6年生がリードする全校縦割り活動においてパラスポーツ(ポッチャ)を通じた交流を行いました。

\* 特別支援学級の自立活動において、パラスポーツ体験(ポッチャ)を通じた交流を行いました。

\* 4年生が手話体験授業を通して、障がいを持つ人への理解を進めました。



## 4 子どもたちへの成果

### (1) 理解の広がり

#### ① パラスポーツ理解

パラスポーツ体験で、パラスポーツに親しみを持ち、パラスポーツが持つ競技の魅力を理解しました。

#### ② 友だち理解

チームスポーツとしてのパラスポーツを体験することを通して友だちの良さを理解し、異年齢の友だち、支援学級に在籍する友だちとの交流が進みました。

### (2) 共感の広がり

#### ① パラアスリートへの共感

パラアスリートが魅せる力の凄さ、その力を発揮するために要した努力などをパラスポーツ体験をもとにして共感できました。

#### ② 友だちへの共感

パラスポーツ体験・パラスポーツ学習について友だちと同じ学びをすることで、友だちの「思い」「考え」に共感できました。

### (3) 探求の広がり

#### ① パラスポーツについての探求

さまざまなパラスポーツについて調べ体験してみようという子どもたちの探求が見られました。

#### ② パリパラリンピックについての探求

パリパラリンピックについて関心を持ち、調べてみようという探求が見られました。

#### ③ あたたかい集団づくりの探求

パラスポーツ体験を通して得た「友だち理解」「友だちへの共感」を活かし、さらに「あたたかい学級」「あたたかい集団」を目指したいという子どもたちの探求が感じられました。



どんな人でもスポーツができるということを学びました。足が片方なくても、ありのままの自分で生きているのがすごいと思いました。



## 5 今後に向けて

今年度の取り組みを通して、パラスポーツの価値を感じました。来年度は、パリパラリンピック開催の年なので、子どもたちの興味関心が深まると考えています。創意工夫した取り組みを今後も進めていき、「理解」「共感」「探求」をさらに広めていきたいと考えています。

